

視点を変えてみたら、との思いで、生きものとのお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○㊿

鳥の羽毛は面白いというか、よくできているというか、感心してしまいます。面になったり線になったり。保温したり、熱を防いだりして、体を保護しているし、油を塗ったり塗らなかつたりして、水に浮いたり、潜ったり。生え変わって体の色や模様を変えたりもしている。とても大雑把で感覚的な表現で申し訳ありませんが、とにかく鳥という生きものは面白い。飛ぶことができる鳥でありながら、カイツブリやウの仲間など、水に潜ることもできる鳥もいる。潜り方も様々あって、羽毛の形やフロポーション、足の位置やその形など、様々に変化している。そういう目で、あの種類はどうだとか思い出してみると、その多種多様さに改めて驚かされる。そんなことに思いを巡らしているうちに、改めて、よくよく観察してみなければと思わされたのでした。

<さんじゃく>



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎(ウ)クラブ内 TEL & FAX : 092-400-1765

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 93★

春日公園で、冬の終わりを、ゆっくりと観察します。

☆日時 2月16日 (土)

集合10時～解散12時

☆場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

2 / 1 7 (日) 3 / 1 7 日 (日)
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

2 / 2 4 (日) 3 / 2 4 (日)
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

3 / 3 (日)
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

3 / 9 (土)
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ボート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

3 / 1 0 (日)
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

3 / 5 (火)
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

2 / 2 4 (日)
延命公園（大牟田市）
時 間：9:00～
集 合：体育館西側広場
問合せ：090-4480-9104
（中嶋秀利）

福岡植物友の会

2月には直接お問合せください。
問合せ：佃 昇（092-662-2983）
参加は有料 詳細はお問合せ下さい

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

3 / 2 (第2土曜日)
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
参加された方には新しい「自然観察マッ
プ」も差し上げます。

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きものの情報を載せています

ウシカメムシ 三国・松永

ラデリンドウ・三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会
観察の様子

和白干潟を守る会 主催

2 / 2 3 (土)
臨時定例会議
時 間：12:50～
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2 / 2 3 (土)
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

2 / 1 7 (日) 記念講演

講 師：日野文雄氏（民俗学研究者）
時 間：14:30～
会 場：くるめウス（予定）
問合せ：<http://kurumenoshizen.net/>
主 催：久留米の自然を守る会
尚、13時30分から同じ会場で総会
を、また、講演会終了後懇親会（ゆ
めタウン予定）を行う予定です。

2019年1月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、1月1日（旧暦11月26日）～1月31日（旧暦12月26日）までのデジカメ日誌です。



1月3日（旧暦11月28日） 岡垣町手野
ジョウビタキ♀が桜の樹で採餌中。ガの幼虫であろうか？
この後、軽く枝に叩きつけてバクッと食べた。命の循環。



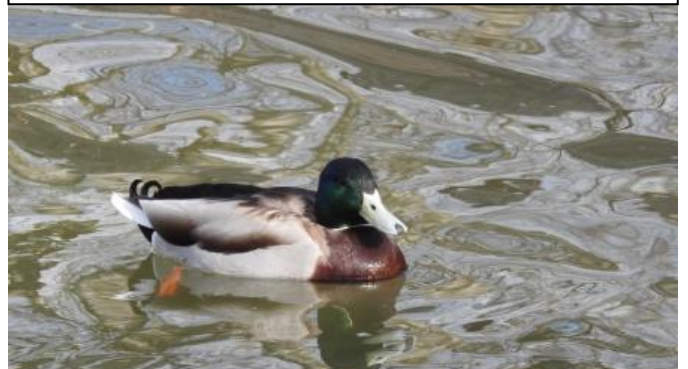
1月7日（旧暦12月2日） 筑紫野市山口天拝湖
今年のガンカモ調査で、筑紫野市域でのイカルチドリは、
12羽であった。多い年でも18羽くらいだ。ただ、音に敏感
になっているようだ。これも開発の影響か？



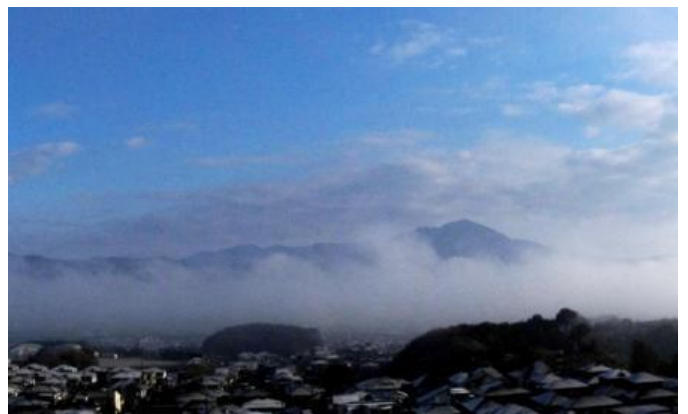
1月24日（旧暦12月19日） 筑紫野市天拝坂
シュウメイギクの種である。秋に咲く花は観ていたが、種
には気づかなかった。アネモネの仲間で種は風で飛ばす
ようだ。キンポウゲ科なので毒は持っているのかな。



1月4日（旧暦11月29日） 東区塩浜和白海岸
久しぶりに和白海岸へ寄ってみた。すきりと見えていた背
振山脈が人工島の壁に遮られてしまっていた。野鳥公園
予定地に小山ができてるのはどうしてだろう？新しい干
潟公園ではなかったのか。



1月16日（旧暦12月11日） 粕屋町駕与丁池
マガモにしては、ちょっと変！尾羽のカーブもあるし、足も
オレンジだし・・・くちばしが黄色・・・ではない。グレーであ
る。「カモ識別図鑑」には、オナガガモとの交雑種が載っ
ているが・・・カモにだっていろいろ事情があるだろうな。



1月27日（旧暦12月22日） 筑紫野市天拝坂
寒波襲来。前日は雪が舞った。朝から青空だが、その雪
が朝方は凍り付いていた。こんな日は、二日市地狭帯に
霧が立ち雲海のようなになる。昨年は2月3日に同じ現象が
見られた。

くすのき 2019年2月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

春日公園自然観察会（2019年1月19日） 晴れで散策にもってこいの日和でした。

2名で開始、途中で知人が同行し、歩いた。冬鳥を中心に観察した。はじめに見かけたのがツグミでした。木々の間を鳴きながら飛び回り、えらくにぎやかでした。特に、楠に群がっていて、この実を盛んに啄んでいた。他に、シロハラ、ヒヨドリやムクドリも楠のそばで見かけた。また、ユズリハの実を啄むシロハラも見かけた。木の実もトウネズミモチがびっしり、クロガネモチやトキワサンザシの赤い実が目立っていた。食べても甘いイヌマキの赤い実がたくさん落ちていた。梅の花も咲き始め、いつもの冬の様子かなと感じる一方、この季節に、意外にも、美しい紫色のムラサキシジミが、路上で命絶えていた。暖かい冬なので、親になる時期を間違えたのでしょうか。報告 田村耕作



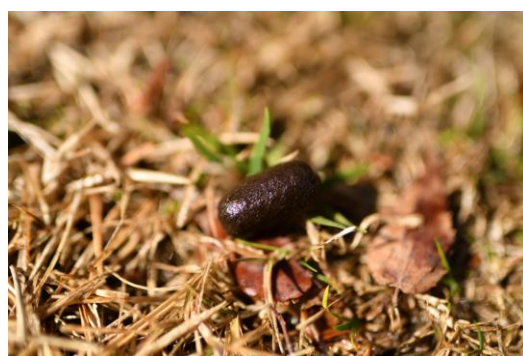
会員、つるた自然塾（^o^）＼＼さんからの投稿

新年も早や1月、月日が経つのが年々早く感じます。写真送ります。フン、フン、フン、黒豆(?)

山間部5cm積雪の翌日(1月27日)に、篠栗森林セラピーロード(樹芸の森コース)約13kmを散策しました。

いろいろな発見がありましたが、未だ温かい鹿の糞もいっぱいでした。

この辺りも、個体数がかなり多くなってきているようです。



会員の皆様へ

来年度(2019年)の九州自然協議会[鹿児島大会]の日程が決定しました。詳細はこれからですが、日程を予定表に入れておいていただけると幸いです。以下、鹿児島連絡会の河井さんからのメールを添付いたします。

九州自然協議会 in かしま

- ・ 開催日 2019年10月12, 13日(土、日)
- ・ 宿泊地 鹿屋市上高隈町3811-1

カピックセンター(鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター)

- ・ 会費 5000円以内 桜島集合が想定され、車は乗り合わせると経費削減。 片江展望台で見かけたサシバ
- ・ 鹿児島中央駅からの送迎も想定。(新幹線、バス利用者)
- ・ 46名まで受け入れ可能
- ・ 内容は火山とサシバの渡りなど、8月中には詳細確定できるものと思います。



以上、よろしくお願いいたします。

◎こんな新聞記事が目に入りました。

この書籍の案内で、「外来生物」とは何か。いつの時点で存在していた生物が在来種なのか。考えさせられる内容で、手に取って読んでみたくなりました。

2019.1.26(土) 朝日

なぜわれわれは外来生物を受け入れる必要があるのか

クリス・D・トマス(著) 上原ゆうこ訳 原書房 2592円

Chris D. Thomas 59年生まれ。英ヨーク大学の生態・進化生物学者。英学士院の特別会員。本書は初の著書。

「自然観の見直し迫る問題作」

おいおい、これはとんでもない主張じゃないのか。生態学に詳しい同僚は、近年、話題になった類似の2冊とともに「外来種問題三部作」と断じていた。本書は、人間の活動による自然破壊、外来生物の影響を探りながら、「種によっては減少や絶滅のきつかけになったが、多くの種の量と地理的分布の増加につながった」ことを示す。人間による変動に対応した「生物の変化は、地球上の生命が生き残るための方法である」。それぞれに納得感がある。多くの例示に、逆の主張を展開する事例や論証も並べられそうだとこの思いもよぎる。

そもそも「外来生物」とは何か。いつの時点で存在していた生物が在来種なのか。「スタートの時期として1万年前を選べば、イギリスのイエスズメの「正しい」数はゼロ」。筆者は保護活動のあり方に疑問を投げかけている。地質学的な時間軸で考え

ると、過去に大量絶滅が繰り返され、2億5千万年前には96%の生物が消えた。その後、恐竜が栄えた時期もあり、いまの生態系もある。6回目の大量絶滅と言われる現代。人類も退場すれば、もっと多様な生態系が出現するかも知れない。どんな生態系を守るべきなのか。生物多様性が大切だと言っても、野生生物のためではなく、人間が都合よく持続可能に利用し続けたいということ。人間に迷惑をかけて繁栄するものがいたとしても、それは人間の問題であって、彼らの問題ではない。「子孫たちが自然界から得る利益をどうしたら最大化できるか?」なのだ。農業も自然を大きく変えている。人間の関与は一刀両断には論じられない。

「人類も自然の一部」も意見が割れるだろう。筆者は謝辞で「賛同した人々と同じくらい、反論した人々に感謝」と述べる。納得しても、批判的に読んでも、人と自然の関係、さらにはほかの問題で疑わなかった定説も考え直させる。

評・黒沢 大陸
本社大阪科学医療部長

那珂川町自然観察ガイドブック「動物編②」昆虫・魚類・水生生物の紹介

資料提供は 会員の重松尚紀

筑紫郡那珂川市から出版された自然観察を進める上で、大変参考になる書籍を紹介します。平成30年3月発行です。
昆虫類は、裂田溝（さくたのうなで）周辺をはじめ、主な観察コース5ヶ所の紹介。次に環境の違いによる昆虫のお話し。
町内に生息する主な昆虫の紹介。

魚類は、町内に生息する種の紹介、指標魚類での河川の自然環境の豊かさ判定。

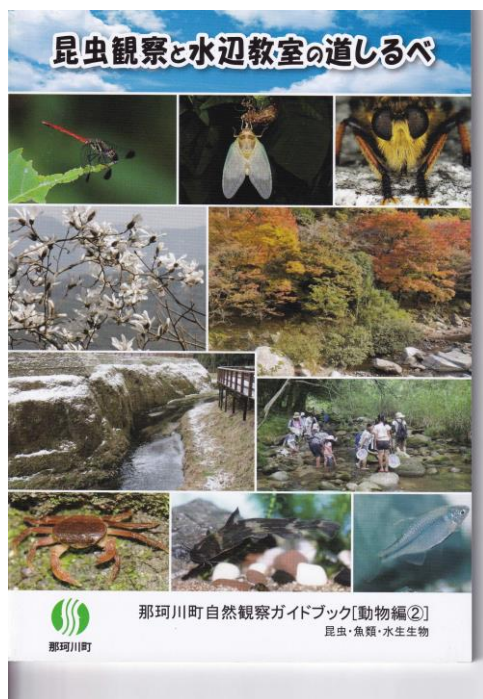
水生生物は、カゲロウのなかま、トンボの幼虫（ヤゴ）のなかま、カワゲラとトビケラのなかま、などの紹介。

最後に、那珂川町の自然観察おすすめスポットとして、

裂田溝田園散策コース、不入道～中ノ島 親水公園コース、南畑ダム・五ヶ山ダム・ダム湖と森林散策コースの紹介が掲載されています。

那珂川町の自然や生息する生きものに関心を持たれたら、参考されることをお勧めします。

問合せ先 那珂川市環境課



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2018年度会費が未納の方、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、平成31年3月8（金）午後6時より事務局で行います。2019年3月号の原稿は、2019年3/5（火）届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2019年01月の定例発送会は、山本弘子、藤川渡、永松愛子、田村耕作が参加。少し前、初日の出を見に、能古島に出かけたという記憶が新鮮なのに、節分のマメを公園で見かけました。恵方巻の売れ残りが問題視されたのも最近のニュースにありました。どうい結果だったのでしょうか。次々と新しいニュースでめまぐるしい人間社会ですが、生きもの世界でも暑かったり寒かったりと寒暖差が大きく、そのことが、生きもの暮らしに影響しているような気がしています。1月、菜の花にミツバチがやってきていたり、キランソウの花を見かけたり、スマレの仲間、あちこちで見かけます。我が家の庭では、もうムラサキケマンが花を咲かせています。

こんな風景、私には真冬の風景とは思えない。しかし、現実なんです。

